

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード GA1	科名 ファッションテキスタイル科1年	単位	4単位
科目コード 201100	科目名 ウィービング基礎演習	授業期間	(通年)

担当教員(代表)： 中島(藤本)桃香	共同担当者：
--------------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

前期は三原組織を中心にサンプル製作を通じ、織物の構造を理解し、製作に必要な知識、技術を習得する。
前期後半から後期にかけてはマフラー・厚地織物サンプル・身につける布をテーマとした自由製作により、素材・組織選びなど用途に合わせた織物の企画をすることで、風合い・機能・効果を習得する。

【授業計画】

課題1：三原組織サンプル製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。 製作したサンプルを使用し、組織図についての講義、演習。.....演習 10コマ
課題2：組織サンプルの製作	各自木枠にて製織。 色々な織り組織のサンプル製作し、風合いの違いを考察。.....演習 6コマ
課題3：マフラー製作	2人1組で卓上織機を使用、製織。演習 12コマ 糸染めから企画・設計・製織まで製織。講義 4コマ
課題4：自由製作	各自卓上織機にて製織。 服地・装飾品に使う織り布の企画・設計・製織までを実習。.....演習 18コマ
課題5：厚地織物	各自木枠にて製織。 ノッティング・綴れ織りのサンプル製作。.....講義 6コマ

【評価方法】

S～C・F評価 評価基準：学業評価90% 授業姿勢10% 学業評価＝実技課題作品提出及びレポートの提出

主要教材図書 手織りの教科書 グラフィック社

参考図書 ハンドウィービング（手織りの実習） 文化出版

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

特徴：糸から生地になっていく過程を実習により理解する。

担当教員：文化服装学院ファッションテキスタイル科卒業。

手織りで作品を作ることと並行して手染めの革製品を製作・販売する個人ブランドJake Amelieを設立。

記載者氏名 中島(藤本)桃香

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	14272	科 名	ファッションテキスタイル科 2年	単 位	4 単位
科目コード	22020	科目名	テキスタイルクリエイション II	授業期間	通年

担当教員(代表)： 宇田川泰裕	共同担当者： 玉田愛海
-----------------	-------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

デザインやアイデアを実現する。目的を実現するための技術を個々が学ぶ中で、その達成のために様々な実験を行い、知識や技術を学ぶ。各自製作した作品の経験を共有し、テキスタイル表現の多様性を見識を深め、見る目を養う。

【授業計画】

テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

＜前期授業＞ オリジナル製作

1. 企画を立てる (講義・実習内にて)
2. 企画プレゼンテーション
3. サンプル製作
4. 制作プレゼンテーション
5. 本製作
6. 完成プレゼンテーション

講義・実習

1. 反応染料によるプリント
2. 捺染設備の使用法
3. 顔料によるプリント色合わせ

＜後期授業＞ オリジナル製作

1. 企画プレゼンテーション
2. 素材製作 本製作
3. 修了プレゼンテーション

講義・実習

1. 反応染料の無地染め
2. 顔料抜染
3. 各種顔料プリント
4. 塩縮
5. リップル
6. 反応染料防染プリント

1. 展示会見学
2. 各種工場見学

【評価方法】

各実習ごとのレポート及びポートフォリオなどの提出物・出欠席・プレゼンテーションの内容・素材や服等のオリジナル製作物

主要教材図書 文化ファッション大系 服飾関連専門講座③「アパレル染色論」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 自由な発想でのテキスタイルクリエイションを校内の設備を活用して行う。

奥田染工場 企画製造。多種の染色技術を保有すると共に、テキスタイルを中心とした生産及び企画、全国の産地と連携したものづくり、メディア制作等を行っている。

記載者氏名 宇田川 泰裕

2025年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	GA3	科 名	ファッションテキスタイル科	単 位	2 単位
科目コード		科目名	テキスタイル商品企画	授業期間	通年

担当教員(代表)：宮本英紀	共同担当者：
---------------	--------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

ストール作りに必要な素材の知識や、即戦力になる応用的な織組織を学ぶ。
グループに分かれてブランドを立ち上げ、ストールを企画して仕上げ、プレゼンを行う。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
様々なストール製品に触れる	講義	1
素材・織物の立体性・織組織等の学習	講義	7
各自織組織考案・織られた生地に触れる	講義	5
ブランド立ち上げ・ブランドコンセプト考案	グループ活動	3
ストール企画・試作	グループ活動	7
ストール製作	グループ活動	2
ストールプレゼン	グループ活動	1

【評価方法】

S～C・F評価 20%、授業姿勢 80%。

主要教材図書
参考図書 なし
その他資料 ストールサンプル・生地サンプル等

授業の特徴と担当教員紹介

織物を立体として捉え、応用的な知識を得て商品作りに活かす授業。
宮本英紀：織物工場で6年間働いた後、文化・ファッションテキスタイル研究所の研究員となる。

記載者氏名 宮本英紀